

はじめに、お読みください(SaraTno_2016)

1. はじめに

StarTno(スター・ティーン)は, RT ミドルウェア(RTM)の入門者を対象とした RT コンポーネント(RTC)とその説明書です. Studuino(スタディーノ: Arduino 互換ボード)と RTno (アールティーン)を使用します. ようこそ, RT ミドルウェアの世界へ!!

StarTno_00 は, Windows7_VsualStudio2013 用と Windows10_VsualStudio2015 用の 2 つの説明書を準備しています. すぐに使いたい人は, 00_StarTno_00_ Win7_VsualStudio2013 フォルダまたは, 00_StarTno_00_ Win10_VsualStudio2015 にお進みください.

2. StarTno

RTM について, 段階を踏んで学ぶことができるように StarTno_00~05 の開発を計画しました. 2016 年の進捗状況は表の通りです.

StarTno

StarTno	テーマ	年	内容
StarTno_00	RTM 入門	2016	RTC の使い方, 作り方.
StarTno_01	ロボット入門	2015	簡単なロボットを作り, ゲームコントローラで操縦する
StarTno_02	画像処理	未定	Open CV を使用する予定.
StarTno_03	音声処理	2015	マイクからの指令でロボットを動かす.
StarTno_04	センサ	未定	Kinect, Leap Motion を使用する予定
StarTno_05	無線化	未定	Xbee, Bluetooth を使用する予定

3. StarTno(2016)の内容

フォルダ・ファイル	内容	年	詳細
00_RTno	RTno	2011	菅氏が開発した RT コンポーネント・Arduino 間の通信を簡単化する RTC 最上段: 00_RTnoProxyComp (起動前に RTnoProxy の設定が必要) 最下段: RTnoProxy (COM ポートの番号の書き換えが必要)
00_RTno_Arduino 用 ライブラリ	ライブラリ	2011	RTno の Arduino 用のライブラリ.
00_StarTno_00_ Win7_VsualStudio2013	RTM 入門	2016	StarTno_00: Studuino 用(Arduino 用)スケッチ Cout: [CoutComp]入力値を簡単な棒グラフで表示する RTC Cin: [CinComp]入力した数値を出力する RTC Keyin: [KeyinComp]キー入力で数値を出力する RTC x N: [xNComp]入力値の 2 倍, 10 倍, 100 倍の値を出力する RTC □StarTno_00 説明書 01(Win7-VS13): RTC の使い方・作り方 1 □StarTno_00 説明書 02(Win7-VS13): RTC の作り方 2 □StarTno_00 説明書 03: RTno の使い方・スケッチの作り方
00_StarTno_00_ Win10_VsualStudio2015	RTM 入門	2016	Win10- VsualStudio2015 用. 内容は上記と同じ
01_StarTno_01	ロボット入門	2015	_0_StarTno_01_easy_solution_01 01_directinputcomp.exe 02_StarTno_01Comp.exe 03_RTnoProxyComp.exe 最下段: RTnoProxy.conf _1_StarTno_01_source code:ソースコード _2_Word: 説明書の Word ファイル □StarTno_01 説明書 00_RTM の概要.pdf □StarTno_01 説明書 01_概要.pdf □StarTno_01 説明書 02_基本マニュアル.pdf □StarTno_01 説明書 03_組立マニュアル.pdf
03_StarTno_03	音声処理	2015	説明書作成中
はじめにお読みください (StarTno)	説明書	2016	□このファイル

4. 主要なファイル構成

